

# 令和3年度 北海道七飯養護学校 学校評価教職員アンケート

全体数 107

回収数 105

回収率 98%

○評価4(よくあてはまる) 3(あてはまる) 1(あまりあてはまらない) 1(あてはまらない) 無(わからない)

※行政職員は、「学校は、」の視点で回答し、答えられない項目は無回答で記入してください、平均値は3.1 3.1未満をピンクで色分けした

■ は、共通課題に関連する項目

↓プルダウンによる選択

全教職員

	評価項目	平均値	評価	評価	評価	評価	無	
			4	3	2	1		
学校経営について	1 学校教育目標に基づき経営方針、経営の重点等の共通理解が図られ、各学部、寄宿舎、分掌、事務部の計画に反映されている。	3.2	30	72	0	0	0	
			29%	69%	0%	0%	0%	
	2 学校課題解決のための重点の共通理解が図られ、重点に沿った教育活動や各部の業務推進がなされている。	3.2	30	71	0	0	1	
			29%	68%	0%	0%	1%	
	3 終了の時刻を明確にして効率的な会議や打ち合わせが行われている。	3.0	32	54	12	2	2	
			31%	51%	11%	2%	2%	
	4 指導担当者間での話し合いは、次回の授業や指導に生かせる建設的な協議になっている。	3.3	49	47	1	1	2	
			47%	45%	1%	1%	2%	
	5 自立に向けた指導のための教材の準備を十分にできる環境が確保され、担当する授業時数もそれに適した適切な配分となるよう改善している。	2.8	14	63	20	1	5	
13%			60%	19%	1%	5%		
6 分掌の業務内容の見直し(スクラップ&ビルド)の取組が進められている。	3.0	21	67	11	1	2		
		20%	64%	11%	1%	2%		
7 各学部や分掌、棟、事務部の情報共有や連携が図られ、組織的、効率的に業務が行われている。	3.0	14	80	6	1	1		
		13%	76%	6%	1%	1%		
8 学校予算は、教育活動の必要性、緊急性、優先度に基づいて計画的に執行されている。	3.1	24	72	5	1	0		
		23%	69%	5%	1%	0%		
9 学校の教育活動について地域へわかりやすく発信し、十分に理解啓発を行っている。(コーディネーター等の学校への訪問による支援やHPによる発信も含む)	3.0	22	74	2	1	2		
		21%	71%	2%	1%	2%		
教育課程について	10 小・中学部、高等部のつながりに対応した教育課程の編成ができています。(教諭のみ回答)	2.9	9	64	5	2	4	
			9%	61%	5%	2%	4%	
	11 授業時数、日課、時間割は児童生徒の実態にあわせ、何をどのように学ぶのかなど内容が明確になっている。(教諭のみ回答)	3.2	20	60	0	2	3	
			19%	57%	0%	2%	3%	
	12 教育課程の評価が適切に行われ、学ぶ内容の見直しや授業改善につながっている。(教諭のみ回答)	3.1	16	63	1	0	3	
15%			60%	1%	0%	3%		
13 学校(寄宿舎)行事や学校(寄宿舎)の地域資源を活用した活動は社会の変化に対応しながら生きる力を身に付ける改善や工夫がなされている。(教諭・寄宿舎指導員のみ回答)	3.0	26	67	4	0	3		
		25%	64%	4%	0%	3%		
14 ICT機器を活用した効果的な学習指導の工夫改善に取り組んでいる(教諭のみ回答)	3.3	32	44	7	1	2		
		31%	42%	7%	1%	2%		
教育活動・指導について	15 保護者と連携して「個別的教育支援計画」等を学校や寄宿舎で作成し、児童生徒の課題や目標、手立てを分かりやすく作成している。	3.3	50	47	2	0	2	
			48%	45%	2%	0%	2%	
	16 個別の指導計画や寄宿舎個別の指導計画の目標、手立て、評価は日々の授業や指導で活用し、適宜手立ての改善を図るようにしている。	3.3	49	47	3	0	2	
			47%	45%	3%	0%	2%	
	17 本人・保護者の願いやニーズを踏まえるとともに、根拠を明確にした指導を行っている。	3.4	49	51	2	0	0	
			47%	49%	2%	0%	0%	
	18 児童生徒の障がい特性を理解し発達段階に応じた授業や指導や環境の整備を進めている。	3.3	39	60	3	0	0	
			37%	57%	3%	0%	0%	
	19 過支援とならないよう児童生徒の主体的な活動を育むための最少人数での指導を進めるとともに、児童生徒の活動時間を十分に保障した授業を実施している。	3.0	28	65	5	0	2	
27%			62%	5%	0%	2%		
20 進路(次の学部や上位学校を含む)先、福祉制度・サービスなどの情報について、担当分掌から情報を得るとともに、保護者への分かりやすい説明をすることができている。	2.9	20	71	7	1	1		
		19%	68%	7%	1%	1%		
21 児童生徒のこについて、学校(寄宿舎)と保護者・施設との間で情報や方針が共有できている。	3.3	44	56	1	0	1		
		42%	53%	1%	0%	1%		
22 児童生徒の手本となるように言動、身なり、マナー等に配慮するとともに、服務規律を意識して行動している。	3.3	41	60	1	0	0		
		39%	57%	1%	0%	0%		
研修・専門性	23 知的障がいや自閉症などの障害特性を理解し、順序性や系統性を踏まえて指導している。	3.2	34	64	3	0	0	
			32%	61%	3%	0%	0%	
	24 知的障がいの教科指導や自立活動について理解した指導を進めるとともに、ICT機器を効果的に活用することを含めた授業改善に取り組んでいる。(教諭のみ回答)	2.6	22	51	12	1	2	
21%			49%	11%	1%	2%		
25 校内研修に積極的に参加するとともに、授業改善(含:指導の改善)に積極的に取り組み、専門性の向上を進めている。	3.1	25	73	2	1	1		
		24%	70%	2%	1%	1%		
危機管理	26 児童生徒の個人情報保護を徹底するとともに、児童生徒や保護者との連携について、個人的な関わりならず、学年、学部、校内等での情報共有が確実にできている。	3.4	49	52	1	0	0	
			47%	50%	1%	0%	0%	
	27 災害時の児童生徒の安全管理や日常的な児童生徒のけが等について適切に対応し、管理職への迅速な報告や保護者への丁寧な説明ができる。	3.3	47	53	2	0	0	
45%			51%	2%	0%	0%		
28 給食や調理学習の際、アレルギーや異物混入に対する危機管理に万全を期すとともに、感染症予防に係る対応に適切に取り組んでいる。	3.4	58	42	1	0	0		
		55%	40%	1%	0%	0%		
その他	29 教材費や行事費は適切に使うことができている。(寄宿舎指導員は小遣いや日常生活費とする)	3.4	55	43	0	0	3	
			52%	41%	0%	0%	3%	
	30 PTA活動(行事等の運営を含む)に参加している。	2.4	9	53	16	3	19	
9%			51%	15%	3%	18%		